



角田高校オープンスクール

8月22日（土）に角田高校オープンスクールを開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で時期を例年より一ヶ月遅らせて、内容も例年行っている座談会や校舎案内はカットするなど精選して行いました。当日は、中学生216名、保護者70名が参加しました。受付では、消毒液を準備し、来校者全員に対して非接触型体温計によって検温を実施して、感染症対策を行ってから開会しました。生徒会長挨拶の後、生徒会役員による学校行事の紹介、アメリカ短期研修の紹介をパワーポイントを用いて実施しました。その後、各年次代表者とOGをパネラーとするパネルディスカッションを行いました。中学生が今知りたい情報を、現役の角高生と卒業生が本音で話す企画で、ファシリテーターの鈴木梨央（角田中出身）が話題を振ったり、自分の考えを交えたりしてうまくまとめていました。パネラー自身の高校受験を振り返ってのアドバイスや部活動選びのポイントなど中学生の参考になったのではないのでしょうか。パネルディスカッション終了後に合唱部と生徒会役員による校歌紹介が行われました。コロナのことを考えてCDを流すだけにしようかという意見もあったのですが、合唱部の生徒たちがこの日のために練習を重ねていたということもあって、マスクをしながらマイクで歌うという形になりました。実際に聞いてみるとマスクをしていることを感じさせない声量が出ており、練習の成果は十分に伝わったのではないかと思います。全体会の終了後は部活動見学が行われ、体育館前に集まった各部の案内者が自作のプラカードを持って活動場所に案内しました。ただ見学しているだけでなく、実際に中学生に体験させている部活動もあったようです。全国的に自粛ムードが広がる中でしたが、生徒主体のオープンスクールは高校生の生き生きした姿や対応力を見ることができて収穫の多いものでした。



受付時の検温の様子



パネルディスカッション



部活動場所への案内



部活動体験

運動部 夏の各種大会

6月に学校が再開してから部活動も再開し、検温や消毒など感染症対策を行いながら練習を重ねてきました。高体連の各専門部では、7月末以降に3年生の県総体の代替大会や1・2年生の大会などを行いました。無観客や大会前数週間の検温記録提出を義務化するなど新型コロナウイルス感染症の中でいかに大会を実施できるかという試みが進んでいることが分かりました。そうした中で角高生が活躍した試合結果のうち主なものを紹介します。今後の生徒たちの活躍にも期待したいと思います。



バドミントン・ジュニア選手権大会
森・廣岡組 対 聖ウルスラの試合

【バドミントン部】

県総体代替大会

男子団体《ベスト8》

- 1回戦 角田 3-0 仙台一
- 2回戦 角田 3-0 仙台青陵
- 3回戦 角田 2-1 宮城工
- 4回戦 角田 0-2 東北生文大高

男子個人シングルス

《ベスト8》佐藤一哉（北角田中出身）

宮城県ジュニア選手権大会

男子ダブルス

《ベスト16》 森伯翔・廣岡朋
(いずれも角田中出身)

《ベスト32》 廣岡宙・廣岡悠
(いずれも角田中出身)
玉手翔・小山内和寿
(いずれも角田中出身)

男子シングルス

《ベスト32》 玉手翔

以上、県新人大会出場件獲得

【陸上競技部】

県総体代替大会

菅野 陸（金津中出身）ハンマー投げ6位

「地域貢献型教育はがき」贈呈

7月31日(金)に角田郵便局長の大山浩一様が来校して、「2020年夏 地域貢献型教育はがき」をいただきました。この事業は、夏のおたよりに通じて生徒に手紙の楽しみや喜びなどを体験してほしいという趣旨で、郵便局が協賛事業所を募り寄贈いただいたものです。生徒会長の笠間琉生（角田中出身）が生徒を代表して受け取り、全校生徒に1人3枚ずつ配布しました。



校長室で「教育はがき」を寄贈される